

【文化財の概要】 石上酒造米蔵、^{こうじむろ}麴室、^{もろみ}仕込蔵（醪蔵）、貯蔵蔵、文庫蔵（5件）

銚子市街の中心地に位置する酒造施設。石上酒造は弘化1年（1844）創業と伝えられる。登録物件は5件とも明治中期の建築と考えられる。

米蔵は外壁を腰海鼠壁^{こしなまこかべ}上部漆喰塗で軒まで塗込める。麴室、仕込蔵（醪蔵）、貯蔵蔵は酒造業の中核をなす施設で、ともに大谷石を積む壁構造。麴室は内部を全面杉板張とし、壁との間には保温のため籾殻を詰め、天井板上にも藁を敷く。仕込蔵（醪蔵）は2階建て小屋組がクイーンポストトラス、貯蔵蔵は土間一室の大空間となっており、小屋組がキングポストトラスである。文庫蔵は敷地の北西隅に建ち、街路側2階には左右に窓を開きアクセントとする。



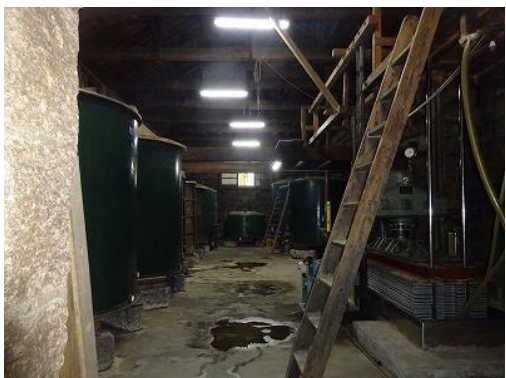
米蔵外観



麴室外観



仕込蔵（醪蔵）小屋組



貯蔵蔵内部



貯蔵蔵外観

写真提供：銚子市教育委員会